

### 307) いつだって僕がいるから

僕たちが出会ったころは おたがいに素直だったね  
歳月を重ねることで 僕たちが駄目になるなら  
別々の道を歩いて 遠くから見つめ合おうよ  
哀しみに出会ったときは いつだって僕がいるから

人間は知性とかいう やっかいな服を着ている  
おたがいに服を脱ぐたび 少しづつ遠ざかってく  
それでいて裸になれない だから今 別れてみよう  
苦しみに出会ったときは いつだって僕がいるから

僕たちは4年のあいだ いつだって一緒だったね  
カラオケを歌うときにも アパートをさがすときさえ  
だからこのビルの谷間で 道知るべ見つからなくて  
寂しさに出会ったときは いつだって僕がいるから

また会える きっと会えるさ おたがいに裸になって  
やり直す勇気があれば 恥じらいも自尊心さえ  
人間のやっかいな服 おたがいに脱いでしまえば  
君のためすべてを捨てて 僕のため逢いに行くから